

ふるさと歴史アラカルト

地名の由来「有家と我嶋」

岩国と宮島は、古くから経済や信仰、観光などにおいて深いつながりがあります。地名においても、岩国市内には宮島（厳島神社）で祭られる市杵島姫命（厳島大明神）に由来する地名が多く残っています。今回はその中から岩国市由宇町にある有家と我嶋の地名の由来について紹介します。

市杵島姫命は現在の福岡県にある玄界灘の沖ノ島をご神体としている宗像三女神の二柱です。市杵島姫命が宗像から現在の広島県にある宮島（厳島）へ住まいを移す際に、立ち寄ったといわれる場所が伝説や地名として今も残っています。

江戸時代後期に編さんされた岩国領の地誌『玖珂郡志』を見ると、次のような伝説があります。ある時、市杵島姫命が乗る船が現在の由宇町に立ち寄った際に「ここに（人の住む）家は有るか」と住民へ尋ねたところ、その地域の古老は「有る」と答えました。市杵島姫命は「それならば、（人の住む）この島は我が島である」と答えた

そうです。この伝説が有家の地名の由来となり、また有家にある我嶋の地名となったとされています。

また地元には別の言い伝えも残っています。市杵島姫命が宮島への道中で荒木という場所に立ち寄った際、岩山に囲まれた小さな入江にきれいな砂浜を見て、この景色を大変気に入りました。そこで市杵島姫命は「こここそ我が島である」と言ったそうです。ところが、心ない住民が市杵島姫命へ嫌がらせをしました。そこで、市杵島姫命は「荒木荒いところ荒気なところ、人の情けのないところ」と歌を詠み、この地を立ち去りました。このことから、我嶋という地名の由来となり、また荒木は有家「荒気」と呼ばれるようになったというものです。

こうした有家や我嶋といった海沿いの地名の伝承に、海上交通の女神として知られる市杵島姫命が関係している点は大変興味深いです。身近にある地名の由来を調べ、地域の歴史の奥深さに触れてみてはいかがでしょうか。

岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館
住所：横山二丁目7-19 ☎(41)0452
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）

11月28日(日)まで由宇歴史民俗資料館で特別展「由宇の歴史アラカルト」を開催しています。



写真…有家と我嶋の地名の由来を伝える『玖珂郡志』

岩国市 人口・世帯

人口 130,707人【前月比 -48人】 男性 62,253人 女性 68,454人

世帯 65,554世帯【前月比 -11世帯】 ※外国人人口を含む(2021年10月1日現在)

交通事故発生件数

9月分事故件数 15件(155件) 死者数 1人(5人) 傷者数 16人(183人)

※高速道路発生分を除く。()内は2021年累計

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。
お問い合わせは、広報戦略課 ☎(29)5016 FAX(21)3337